



能勢高校ニュースレター

第71号 H.25. 12月発行

能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育 第11回 研究発表会

11月20日(水)、町立西中学校において、能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育 第11回研究発表会が開催されました。

午前中は、西地区小学校6年生と中学生で、「カレー作りコンテスト」を行いました。

午後からの公開授業、創作劇「道化師」(西中3年)、京都造形芸術大学の寺脇研教授の指導講評、「島根県立隠岐島前高校魅力化プロジェクト」のメンバーである藤岡慎二先生講演と盛りだくさんの内容で実施されました。

公開授業の部では、能勢高生による「能勢高ナビゲーション」を中1生へ、教員による能勢スペシャル「数学」を中2生に向けて授業を実施しました。

「能勢高ナビゲーション」授業では、本校生徒20名が、3グループに分かれ、ユネスコスクール活動・生徒会活動、農場での活動・能勢観光ツアーなど本校ならではの特色ある取組みの紹介や、高校での学習・クラブ活動を紹介し、中学生活へのアドバイスを含めた授業を行いました。最後の感想では、「ユネスコスクール活動に参加して、海外と関わってみたい。」「農業クラブでいろいろ活動してみたい。」「部活もいっぱいあって、いろんな活動をしていて楽しそうだった。」など、中学ではできない活動に、中学生は大変興味を持ってくれたようです。

能勢スペシャル「数学」では、能勢高校数学科の先生2名がそれぞれ西中学2年生2クラスに向けて、高校での学習を視野に入れ、「1次関数」について発展的な内容の授業を行いました。少し難しいところもありましたが、中学の先生の協力も得て、充実した授業が展開されました。

講評、講演の部では、寺脇先生から、これまで日本の競争社会を作ってきた「工場型教育」からこれからは皆が主役の「劇場型教育」



NS「数学」



ユネスコクラブ



農業クラブ



部活動



生徒会



へ変わっていかねばならない、能勢町の小中高一貫教育はまさしくその方向に向かっていると、御講評をいただきました。

最後に、藤岡先生による講演が行われました。「学校の魅力化と地域の活性化は一体であり、離島で過疎地である隠岐の島の海士町では、地域住民、行政が一体となって町の活性化と島前高校の魅力化に取り組んでいる。」と、これまでの取組みについてお話いただきました。



藤岡先生講演「学校魅力化について」

東中学1年生 授業見学 ～ 能勢高校の実際の授業を見学～

11月8日(金)に、東中学校1年生全員参加による能勢高校授業見学会を実施しました。7月の中学2年生向けの授業体験入学、10月の中学2年生向けのクラブ体験入学に続くもので、中学1年生対象の授業見学会は初めてとなります。

5、6時間目に、生物教室での全体説明のあと、農場と本校にわかれて、授業を見学しました。全体説明では、能勢高校生製作の「能勢高校の学校生活」の映像を見て、また、学校案内のパンフレットをもとに、能勢高校の仕組みの紹介がありました。農場では「昆虫利用」「庭造り」の授業を見学し、本校では「国語総合」「数学Ⅱ」「英語構文」「家庭基礎」「長文読解」など、様々な授業を見学しました。「とても難しいことを、勉強している感じがした。」「しばらく見ていると、漢文の内容がわかって楽しかった。」「中学校にはない、いろんな授業があつて楽しそう。」などの感想があり、中学生にとって能勢高校の学校の雰囲気や授業内容を知る良い機会となりました。



Diego先生の「生活英語」



農場「庭造り」



「健康と看護」

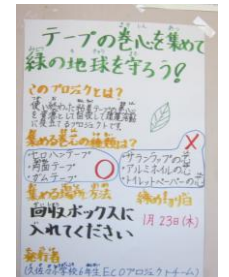
久佐々小6年生「ECOプロジェクト」で能勢高訪問 ～「テープの巻き心を集めて緑の地球を守ろう!」～

12月11日(水)朝、久佐々小学校6年生の5人が、「環境学習」で能勢高校の職員室を訪問しました。能勢高校の先生方に、ECOプロジェクトについてポスターで説明し、テープの巻き心の回収ボックス、チラシ、ポスターを手渡しました。「巻き心を再生して、フィリピンのマングローブ林の再生に役立てます。回収にご協力下さい。」と、元気よく呼びかけました。

なお、回収ボックスは、能勢ボックス、ファミリーマートにも設置しており、期間は1月23日までです。みなさんも、回収に協力して下さい。



能勢高で説明する6年生



ポスター

UNESCO アジア・太平洋地域 高校生ESDフォーラム ～ユネスコクラブ～

11月2日(土)～4日(月)の3日間の日程で、堺市産業振興センターにて「UNESCOアジア太平洋地域高校生ESDフォーラム」が開催されました。本校からは、昨年度から参加している2年生3名に加えて、1年生4名が今回のフォーラムの運営の「準備セミナー」に半年間参加して準備を進めてきました。

2005年に始まった「国連DESD(持続発展教育のための10年)」の最終年にあたる2014年「岡山市」において文部科学省とユネスコの主催による「ユネスコスクール世界大会」が開催されます。この「世界大会」は、①「ユネスコスクール全国大会」、②「Student(高校生)フォーラム」、③「教員フォーラム」から構成されます。②の「Student(高校生)フォーラム」は高校生自身の手によって運営され、34カ国の高校生自身が多様な課題を共有し、共に未来への提言と行動を提起します。具体的には「持続可能な世界の実現のために自分たちにできること」についての共同宣言としてまとめることになっています。

今回の「UNESCOアジア太平洋地域高校生ESDフォーラム」は、2014年のプレ企画として、近隣国のユネスコスクール(国際呼称ASPnet)の高校生が、「未来」を担う若者同士として異なる地域や文化・価値などを超えて共に“学び合い”、そして全ての人にとっての未来を創る連帯感を育むことを意図して開催されました。

今回のフォーラム本番では、この半年間の努力の成果が実り、共同宣言をまとめるに至るディスカッションのスムーズな進行はもちろん、受付・案内・世話係の働き、さらには気配りの行きとどいた場内の装飾に至るまで、海外から参加した韓国・フィリピン・中国・インドネシア・ベトナム・ラオス・タイの高校生や付き添いの先生方に、たいへん満足していただくことができ、成功のうちに終わることができました。



世界フォーラム準備セミナー参加メンバー



フォーラムでの8カ国の高校生によるディスカッション



8カ国の代表高校生による共同宣言発表



8カ国の高校生による記念撮影

中高PTAソフトバレーボール大会!

12月7日(土) 本校体育館を利用して、中学校のPTA役員の方々とソフトバレーボールの交流試合を行いました。今回は、西中学校から4名に参加いただきました。試合は、本校の2チームと西中学校1チームの合計3チームで行いました。



白熱したソフトバレーボール

試合後は、参加者の自己紹介などを通じ、交流を一層深めることができました。今後も時期を考慮しながら、このような機会を設けたいと思います。

留学生カー・ウェイ 歌垣小学校で授業交流

11月27日(水)に、一年間本校にマレーシアから来ている留学生のカー・ウェイさんが、歌垣小学校で小学生たちとの交流活動を行いました。交流会場の教室に到着すると、まず全学年の児童の皆さん一人ひとりから挨拶と握手で迎えてもらいました。カー・ウェイさんはスライドを使って、マレーシアの自然、文化、食べ物や学校生活等について、わかりやすく日本語で説明しました。小学生たちは熱心に話を聞いて、たくさんの質問をしてくれました。それから1・2年生の児童の皆さんに、お手玉、こま回し、けん玉、ダルマ落とし等の「日本の昔の遊び」を教えてもらいながら楽しんだ後に、給食を一緒に食べました。カー・ウェイさんは「私は小さい子供が好きなので、1・2年生特にかわいかったです。」と楽しかった様子を本当にうれしそうに話してくれました。



マレーシアについてスライドを使って説明するカー・ウェイさん

関西外国語大学との高大連携テレビ会議授業

11月29日(金)「英語構文」の授業で2年生6名対象に、生物教室で関西外国語大学の留学生たちと、高大連携テレビ会議授業を実施しました。この授業はテレビ電話で留学生とコミュニケーションをとることによって、学習した英語を実際に使い、英語学習のさらなる動機付けとすることを目的として、昨年度より実施しています。事前に、中国・アメリカ・スペイン・カナダ・オーストラリア・ドイツから来ている留学生それぞれとペアを組んでプロフィールを交換し、互いのインタビューでの質問事項を事前に伝え合いました。当日はそれぞれのペアで、インターネットテレビ電話を通じて、能勢高校生が留学生に、また、留学生が能勢高校生にインタビューを行いました。生徒たちの授業後のアンケートには、「緊張したけど楽しかった。もっとうまく会話ができるように英語の学習を続けたい。」といった感想が見られました。今後の英語学習の動機付けにつながる有意義な交流授業となりました。



テレビ電話で交流する生徒